

令和5年度1月教育委員会 会議録

開催日時	令和6年1月31日（水） 15:00～16:25	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 集会室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、綾野克紀委員、市橋晃委員、岡本善弘委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、吉見一成生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 業務執行体制の整備（機構改革）について (2) 子ども議会報告について (3) その他 3 連絡 4 閉会	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	貝原丈雄	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>白神教育長：元日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられました方々に、謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。今尚避難生活を余儀なくされている方も多く、心からお見舞い申し上げます。</p> <p>その後、海上保安庁の物資輸送の航空機が民間旅客機と衝突炎上という惨事もありまして、不安な年明けとなりました。</p> <p>学校園では9日に始業式があり、3学期が始まって今年度の仕上げの時期になっています。</p> <p>新型コロナウイルスの感染者数も若干増加傾向で、インフルエンザもまだ流行しています。中学3年生は高校受験が始まっていますので、万全な状態で臨んで欲しいなと思っております。</p> <p>1月7日（日）に「二十歳の集い」が開催され128名が出席しました。20日（土）に早島中学校を中心に初めて「はやしまの日」が開催され、多くの人で賑わいました。中学2年生が総合的な学習の時間で行っている、早島魅力ア</p>

ップ大作戦の一環として、町の魅力を知ってもらおうというイベントでした。

27日（土）に「子ども議会」が開催されまして、議長も中学生が務め、学校園から選出された子ども議員から色々な質問や提案があり、前向きな議論がなされました。今後更に早島町や社会のことに興味をもって、18歳になったら選挙権を行使し、積極的に投票行動をとってもらいたいと思いました。

22日に教育長の講義ということで民生委員、児童委員、主任児童委員20名くらいの方に早島の教育について話をさせていただきました。

来年度の予算については、1月のはじめに学校園からヒアリングを行い、まず町長以外の町の査定がありました。来年度は幼稚園、小学校、中学校の給食費と保育園の副食費が全額町費で負担する方向が示されていて、それに1億円弱のお金が必要になるということで、教育委員会だけではなく、色々なところが抑えられる査定があり、その後、町長による町長案件の査定が行われました。教育委員会として、成果はいくらかみられる感じかなと思っています。

学校園へのお願いということで、この時期、校園長会とか校園長それぞれの最終面談をやっていますが、皆さん方に今年度の振り返りと来年度の準備をお願いしています。成果と課題を洗い出し、次年度に向けて計画を立てて欲しいとお願いしています。

2 議事・報告案件

(1) 業務執行体制の整備（機構改革）について

【資料「業務遂行体制の整備（機構改革）に当たって」説明】

猪木課長：教育委員会は、組織としての大きな異動はありませんが、幼稚園業務がこども未来課の設置により、子育て支援として未就学時の施策を統括してこども未来課で見ていきたいと思いますので、現在でも入園の手続きなどは健康福祉課で行っていますが、幼稚園業務は基本的にこども未来課に移ることになります。先生の採用などの人事関係は教育というくくりが強いので、この部分は教育委員会で実施していきます。2月9日に議案があがり、教育委員会事務組織規程の改定が必要になれば、教育委員会でお示しをしてご議決を頂く流れになるとと思いますので、よろしくをお願いします。

白神教育長：条例改正が必要なので、2月臨時会で決まることになります。

綾野委員：町民にとってわかりやすい組織になってくるんでしょうか。

環境上下水道ではなく公共衛生だったらまだわかりませんが。公衆衛生だって今、土木と一緒にしているんだからね。集約したなと思いますね。

白神教育長：町長が就任されてからのことなので。大きいのは健康福祉課が肥大化していたのもあり、町長も給食費も含めて子育て支援を前面に出されているので、見える組織にしたのかなと思います。

綾野委員：本当に住民にとってわかりやすくなっているかの観点からすると、保育は厚生労働省で幼稚園は文科省ですが、こども未来課は住民福祉なんですかね。

白神教育長：幼児から、保育園に行くのか幼稚園に行くのかの入園に関しては今でも健康福祉課でしていますので、実情に合わせた感じになっているのかなと思います。

猪木課長：こども家庭庁ができたこともあり、その業務に合わせていくのもこの部分に関してはあるのかなと思います。

市橋委員：子育て支援に力を入れるというので、こども未来課が出来たら、今までと何がどう変わるのかなと思います。

白神教育長：健康福祉課がやっていた内容は基本的にわかるようになっています。

市橋委員：こども未来課は、小学校は関係ないんですね。

猪木課長：関係ないです。小学校は教育委員会です。基本的な分け方としては、放課後の留守家庭をどこで担当するかも議論になったようですが、こども未来課が未就学児を中心ということです。

市橋委員：素人的には、幼稚園も保育園も小学校も、全部教育委員会の中に入らなかついてこない感じですが、なぜそっちだけ分けるんだろうかなと思いますね。

猪木課長：今、放課後子ども教室は生涯学習課、放課後塾は学校教育課、留守家庭だけは健康福祉課でやっているの、教育委員会で一元化という考え方、トータルで子どもの居場所づくりを考えていきたいと思いますという考え方もあったと思います。

岡本委員：目的の中に「町民にとってわかりやすい組織」とありますが、これに対して、町民の意見が反映される機会はあるんですか。住民の方がよく言われるのは、縦割りになったら、なぜこの問題についてはこの課でないのかと聞きます。新しくグループという考え方が機能して横の連携がグループで行われるならいいのではないかな。

白神教育長：グループで融通をつけてやりましょうみたいな気持ちは出てきた。課によっては忙しい時期が異なったりするので、お手伝いに行けたり融通が利けば限られた人員の中でより均等に仕事の割り振りが出来るのではないかななど、町長も考えられたのではないかな。

(2) 子ども議会報告について

【資料「令和5年度 はやしま子ども議会質問通告書」】

猪木課長：1月27日(土)に、はやしま子ども議会が、役場の町議会議場で開催されました。子どもたちに身近な問題や将来のまちづくりなどを、模擬町議会で質問意見を提言することで、町民としての自覚と、ふるさとを愛する心を育成するのが目的です。同時に、議員さんはこういった質問をしてまちづくりをしているんですよ。町長さんはそれを受けて色々政策をしているんですよ。主権者教育で、選挙に行くことは大切なんだよということも目的となっています。

幼稚園児1グループ、小学校児童が4グループ、中学校生徒が2グループで、総勢22名の子ども達が参加してくれました。

質問の内容が「早島町地域の課題」「早島町の将来のまちづくり」「早島町の教育」早島町のことで質問してくださいとお願いしました。

吉見課長： 通告書の1番と5番について答弁させていただきました。

1番「早島町季節マップがほしい」では、幼稚園の子ども達は、不老の道マップを季節ごとに作ってはどうか、四季折々の風景や雰囲気や地図の中に織り込んで、早島町季節マップと名付けて作ってはどうかという提案でした。町の大人達が考えて作った今のマップも、幼稚園の子ども達が考えていることと同じ気持ちで作っていることを伝え、季節マップも園児に書いてもらって挿絵にしたり、家の人と歩いて撮った写真などを載せて一緒に作っていきましょうと答えました。

5番「いぐさの町早島であることをもっと知ってもらおう活動を」では、具体的な提案を2つもらいました。

- ・い草製品を、もっと知ってもらえる様なイベントを開きましょう
- ・い草を、プランターを使って家庭で育ててもらえるのはどうか

早島町が行っている大小様々なイベントの中で、主催者さんと相談して、い草製品を紹介するブースは作れますので、小学生の皆さんと一緒に考えながらそういったブースを増やして、い草製品を町内外へPRしていきたいですと答えました。

プランターの方も、公民館を会場にして、い草の苗をプランターに植える体験行事を、毎年12月に行っています。参加者を集う時に、家庭用の栽培キットの配布を企画の中に入れることも可能です。どうすればい草のことを町の内外の人に知ってもらって関心を高めてもらえるか、皆さんと一緒に考えていきたいですと答えました。議会後に「毎年子ども議会に園児を連れて来ているけれども、役場の人から、こんなに前向きな答えをもらったことはない」と幼稚園の先生が感動してくれて、個人的には嬉しかったです。

猪木課長： こども議会後に、ふりかえりシートを皆さんに記入してもらいましたので、来月にはお示し致しますが、いくつか紹介します。

「大人に一步近づいた気がする」「練習の成果を活かすことが出来ました」「大人になったら県や国のことも考えなければならぬというのを知り、その第一歩として町のことを考えられて、いい経験になりました」「初めてこういう場に立たせてもらい良い経験になったし、次もそのような場面があったら、今回やったことを活かしていきたいと思いました」「議会だけではなく、普段の小学校生活から活かしていきたいし、この議会でちょっと自信が持てて良かったです」「議長というすごく貴重な体験をさせて頂いてありがたかったし、早島についても勉強になりました。議会が身近に感じられたので18歳になったら投票に行こうと思

いました」「自分たちの意見を前向きに捉えてもらえて嬉しかったです。早島町の課題を今まで考えてきて、この場で話すことが出来て良かったです」

早島町や選挙に関心を持ってもらういい機会になっているので、今後も続けていきたいなと思っています。頂いた提案や意見を、町としても課長会議等で求めて、実現できるものは進めていきたいと思っています。

岡本委員：不老の道マップと重ねて季節マップもすればいいと思います。美星町は、自然などの良い写真を沢山並べたカレンダーを作っているんですが、あのようなのを早島町カレンダーとして作って配布するのも面白いなと思います。い草の記念館でイベントの時、子どもが見学に来た時に「家には畳の部屋あるかな」と聞くと、ノーと答える子どもが多い。

4番目の外国人の関係で、町内に外国人の方はどのくらい生活されていますか。

猪木課長：75人です。ベトナムが9人、中国が11人、韓国が9人、フィリピンが19人、インドネシア2人、ネパール1人、タイ16人、その他が8人です。

岡本委員：災害時も心配になりますが、一時は、中国語で書いたゴミの出し方のポスターを貼りました。なかなか改善されなかったのので、ベトナム語で作ったらピタッとなくなりました。細かい所でも国際的な配慮が必要になってくるのかなと思いました。

白神教育長：い草は小学校が何かしているんじゃないの。

吉見課長：12月に植えたプランターを、保育園・幼稚園・小学校に置いて、水やり等をして育ててもらっています。

市橋委員：子ども議会をテレビのニュースで見ましたが、せっかく面白い質問が出たのに、何をやっているのかわからなかった。もう少し表に出ればいいのになと思いました。

綾野委員：早島町には広報課はないんですか。HP作ってと頼めば作ってくれる？

猪木課長：各課のページは各課でつくっています。

綾野委員：言ったことで変わると喜びになると思うんです。早島町季節マップなんかは実現できると思うので、出来上がったら出来たとHPなどで報告すると励みになるかなと思う。

6番の「早島町の災害の備えについて」は、なぜ総務課が答えているんだろう。建設課ではないの。液状化についてどう答えられましたか。

猪木課長：液状化に特化した避難所やマップは必要とは思っていますと、防災担当の視点から答えていました。

綾野委員：石川県の地震で液状化が起きました。何とか対策が出来ると思っている人ばかりだから、出来ないことはちゃんと出来ませんと言わないと、地震が来ると水が止まるので、それに備えて皆さんちゃんと対応とってくださいと発信しないと、過剰なサービスを求められる。子ども議会の目線って大切ですよ。

猪木課長：答弁として「早島町では液状化だけに特化した具体的な対策や取り組みはないのが現状です」と答えていました。

白神教育長：自分が言ったことがどうなるのかは気になると思うので、その提案を考えてもらえたら、次また何か考えようかなと繋がっていくこともあると思うので、出来る部分で成功体験のようなことを、目に見えて子どもたちに感じてもらえれば、言って良かったなと思うのではないかな。

市橋委員：町内グルメマップはないんですか。

猪木課長：観光協会が発行するマップとしてそのようなのを作っているとは聞きました。

市橋委員：マンションとか増えると外食する場所も増えてくるのかな。

猪木課長：公的機関がお店のマップを作るのは、どのお店を載せるか載せないか、なかなか難しいらしくて、観光協会が作れば可能になるので作ろうということで進めていると聞きました。

岡本委員：先々週に、国道二号線の高架工事の工事説明会がコンベックスで行われました。矢尾からずっと下りて駅に向かっている道、無津交差点についての意見が多く、100人以上の子ども達が陸橋を超えているので、安全のことも出ました。若宮を降りた信号から中学校に向かう山沿いが水路の横なので、転落したり危ないので、ガードレールを付けて欲しいという意見も出ました。

3 連絡

吉見課長：2月4日（日）第13回早島町マラソン大会があります。コロナ禍で3年出来ていなくて、前は飲食ブースも出来ませんでした。今回はキッチンカーや屋台も呼び込み、コロナ前の通常の形に近付いたと思います。以前は駅伝マラソン大会で駅伝もありましたが、コロナ前より急激に住宅地や交通量が増えて、700名を超える会場やコースのキャパシティー的に、コース全ての車を止める交通規制が出来なくて、駅伝も同時開催ならコース自体の見直しも必要ではないかという議論が出ています。今回のエントリーが186名、昨年が240名くらいだったのが減っているのは、同じ日にメジャーな大会が近くで2つあるので、その影響だろうと、実行委員のマラソンに詳しい人が言っていました。九州、近畿、関東の方からも来てくださいます。出来る限りのおもてなしの心を持って運営に当たりたいと思っています。

猪木課長：2月7日（水）に、早島小学校で「はやフェス」が行われます。子ども達が各教室で工夫を凝らした出店をします。見守り隊の方にも招待状が届いていると思いますので、是非ご参加頂けたらと思っています。

2月22日（木）が早島小学校の参観日です。

今年も教育のまち・はやしま子どもフォーラムが3月9日（土）に開催されます。是非お越しください。

猪木課長：次回の教育委員会は、2月22日（木）で総合教育会議の月になっておりますので、まずは教育委員会が幼稚園であるので、13時にゆるびの舎に集合で、一緒に乗り合わせて幼稚園の様子を見て頂いて、15時30分～ゆるびの舎2階の集会室で総合教育会議を開催予定です。よろしくお願ひ致します。

4 閉会